



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校

寮クリスマス会

12月23日、距離を保ち、マスク着用の下、寮クリスマス会が行われました。楠隼中・高等学校ならではの行事で大いに盛り上がりました。この日のために、寮生徒会が中心となり、イベントを企画、運営していました。ビンゴゲームでは寮生徒会が準備したものや、職員からの差し入れもあつて、充実したビンゴ大会になりました。豪華景品が出品されたこともあり、景品に当たった生徒たちは喜んでいました。また、音楽部によるすばらしい白熱したパフォーマンスがあり、生徒たちは演奏を聞き入ることもあれば、大いに盛り上がることもありました。中学・高校ともに楠隼生のエネルギーを感じさせる会になりました。2021年も一致団結して学校・寮生活を頑張ってくれることでしょう。2学期の良い締めくくりとなる会になりました。中学生と高校生が一緒になって生活していることを生かして、目標に向かって頑張ってくれることでしょう。



高校

トップリーダー教室

12月3日、トップリーダー教室が行われました。今回は新型コロナウイルスの影響で、Zoomを用いたオンラインによる講演をしていただきました。

講師は、東京大学薬学部教授の池谷裕二先生で、演題は「脳科学で見る未来と夢をつかむ勉強法」でした。講演では、先生のご専門である神経科学の観点から、効果の出る勉強法を紹介していただきました。

特に印象深かったことを挙げると、「失敗は成功のもと」とあるように、何事も始めのうちにはじっくり考えたうえで、いっぱい失敗した方が脳の成長にはよいということでした。実際にねずみが迷路のゴールを目指す実験の動画と結果を見せてもら

いましたが、始めにいっぱい失敗したねずみの方が、失敗が少なかったねずみと比べ、回数を重ねるごとに最短でゴールできるようなるといいう研究結果が示されています。失敗を繰り返すことで、脳は消去法を覚えやすくなることを知り、生徒たちの印象に強く残ったようでした。

また、「表情や姿勢が感情を形作る」ということも印象に残りました。楽しいから笑顔になるのではなく、笑顔になっていくから楽しいという感情が生まれるようです。また、行動も同様で、嬉しいからガッツポーズをとるのではなく、ガッツポーズをとったから、嬉しいと感じるようです。このように、脳は、身体行動に感情を後付けしているという結果も生徒たちの心に強く残ったようでした。

今回、講演で学んだことを学校生活で実践し、脳に最適な勉強法で希望の進路実現を果たしてほしいと思います。

